

2008年7月24日

<参考資料>

米国デュポン社、2008 第 2 四半期の業績を発表 農業関連事業による堅調な伸びから通期予想を上方修正

米国デュポン社(本社:デラウェア州ウィルミントン、会長兼最高経営責任者:チャールズ・O・ホリデー・ジュニア)は、7月22日(米国時間)、2008年第2四半期(4月~6月)の業績を発表しました。

要約

- 2008年第2四半期の1株当たり利益は前年同期の1ドル4セントに対し、13%増の1ドル18セントであった。訴訟の解決と基本税率の引き下げが1株あたり7セント増となった。
- 事業部門全体の売上は、現地価格の7%増、為替差益の5%増、販売量の1%増、事業ポートフォリオの変化による1%減を反映し、前年同期比12%増の88億ドルとなった。米国を除く地域における売上は18%増となった。一方、米国内での売上は、住宅および自動車市場の低迷にもかかわらず、5%の伸びを示した。
- 現地価格の7%の伸びは、第2四半期におけるエネルギー、原材料および輸送費用15%増を若干埋め合わせるものとなった。
- 農業・食品関連事業部門の売上は、トウモロコシ、大豆および作物保護製品に対する旺盛な世界的需要を反映し、23%増となった。
- 固定費の売上に対する比率で示される固定費生産性は、デュポンが継続して実施しているコスト生産性向上プログラムの成果を反映し、前年同期に対し20%の改善を示した。
- デュポンは2008年下期の利益予想を上方修正し、通期予想は1株あたり3ドル45セントから3ドル55セントまでと予想の範囲を絞り込んだ。

「当社は第2四半期において、原材料およびエネルギー費用が加速度的に増大するなかで、農業関連および新興市場での成長をつかみ、利益を伸ばした。困難な環境の中で健闘している」とチャールズ・O・ホリデー・ジュニア会長兼最高経営責任者は語っています。「当社はここ数年で行ってきた戦略的変革の結果、物価の大幅な上昇という新たな現実とうまく順応することができた。引き続き加速的成長を実現する2010年計画の遂行に注力していく」

グローバル・デュポンの連結売上高の概要

2008年第2四半期の連結売上高は、前年同期比12%増の88億ドルとなった。米国を除く地域での売上は売上全体の60%を占め、18%の伸びを示した。新興市場における売上は23%の伸びとなった。第2四半期における地域別売上高については以下のとおり。

<事業部門の地域別合計売上高>

	事業部門合計売上高		要因別増減率(%)			
	2008年第2四半期(10億ドル)	対前年同期比増減率(%)	現地価格	為替の影響	販売量	ポートフォリオ
米国	3.5	5	9	-	(4)	-
ヨーロッパ	2.7	18	4	12	3	(1)
アジア太平洋	1.5	18	5	4	11	(2)
カナダ、中南米	1.1	17	6	7	5	(1)
連結売上高	8.8	12	7	5	1	(1)

2008年第2四半期の純利益は10億7,800万ドル、1株当たり利益は1ドル18セントであった。前年同期の純利益は9億7,200万ドル、1株当たり利益は1ドル4セントであった。

1株当たり利益

2008年第2四半期の1株当たり利益について、主な要因別に前年同期と比べた変化は以下のとおりである。1株当たりが13%増加した要因として、現地価格の上昇、為替差益、米国を除く地域での販売量の増加が挙げられる。これらの増分は、原材料費の上昇、成長への取り組みおよび生産能力の拡大にかかる費用の増加で一部相殺された。

<1株当たり利益の変化(対2007年第2四半期)>

2007年第2四半期の1株当たり利益	\$1.04
現地価格	\$0.42
変動費*	(\$0.51)
販売量	\$0.03
固定費*	(\$0.04)
為替	\$0.11
医薬品事業	\$0.02
法人税等**	\$0.03
訴訟費用	\$0.04
少数株	\$0.03
支払利息	\$0.01
2008年第2四半期の1株当たり利益	\$1.18
* 販売量および為替の影響を除く。	
** 税金支払い上の好影響の3セント分を含む。	

事業部門の実績

2008年第2四半期の事業部門別の売上高および対前年同期比増減率は以下のとおり。

	事業部門別売上高*		要因別増減率(%)		
	2008年 第2四半期 (10億ドル)	対前年同期比 増減率(%)	米ドル建て 価格	販売量	ポートフォリオ
農業・食品関連事業	2.5	23	15	9	(1)
塗料・色材技術事業	1.9	10	11	(1)	-
電子・情報技術事業	1.1	10	7	1	2
高機能材料事業	1.8	8	13	(5)	-
安全・防護事業	1.6	8	9	2	(3)

* 事業部門別売上高には、部門間の取引が含まれる。

2008年第2四半期の事業部門全体の税引前営業利益は、前年同期8%増の17億ドルであった。当期の事業部門別の税引前営業利益および対前年同期比増減率は以下のとおり。

税引前営業利益/(損失) (100万ドル)	第2四半期		
	2008年	2007年	対前年同期比 増減率(%)
農業・食品関連事業	504	428	18
塗料・色材技術事業	247	226	9
電子・情報技術事業	170	176	(3)
高機能材料事業	223	227	(2)
安全・防護事業	302	318	(5)
成長基盤事業部門合計	1,446	1,375	5
医薬品事業	265	241	10
その他	1	(37)	該当なし
事業部門合計	1,712	1,579	8

以下は、事業部門ごとに前年同期と比較した2008年第2四半期の業績に関する概要です。

農業・食品関連事業

- 売上は種子製品の記録的売上、およびプラットフォーム全般にわたる世界的な価格の伸びを反映し、23%にあたる4億6,700万ドル増の25億ドルとなった。
- 税引前営業利益は、事業全般にわたる販売量の増加と米ドル建て価格の上昇から18%増の5億400万ドルとなり、成長投資、物価上昇、および大豆の包括予定契約に対する費用5,200万ドルで一部相殺された。

塗料・色材技術事業

- 売上は10%増の19億ドルとなった。全部門における米ドル建て価格の上昇と、新興市場での販売量の増加は、北米市場での販売量の低下を埋め合わせる以上のものとなった。
- 税引前営業利益は前年同期比9%増の2億4,700万ドルであった。売上の増加と為替差益は、低迷する自動車および住宅市場、原材料および輸送費用の増加による影響を埋め合わせるものとなった。

電子・情報技術事業

- 売上は販売価格の上昇と為替差益により、10%増の11億ドルとなった。太陽光発電関連、印刷パッケージおよび冷媒といった製品に対する堅調な需要によって、米国の自動車用電子部品の低迷分を一部相殺された。
- 税引前営業利益は前年同期の1億7,600万ドルに対し、1億7,000ドルであった。前年同期の数字には棚卸資産の評価益2,500万ドルが含まれる。当該項目を除いた場合、税引前営業利益は堅調な売上増とコスト生産性の向上を反映し、13%増となった。

高機能材料事業

- 売上は、販売価格の上昇、為替、およびアジア太平洋地域での堅調な伸びにより、8%増の18億ドルとなった。アジアを除く地域では、自動車市場の低迷と定期生産停止の影響から販売量の低下がみられた。
- 税引前営業利益は、原材料費用の大幅な上昇と販売量の低下が販売価格の上昇を相殺する形で、2%減の2億2,300万ドルとなった。

安全・防護事業

- 売上は8%増の16億ドルであった。特に化成品の販売価格の上昇、為替差益および新興市場における広範囲にわたる販売量の増加は、米国の住宅市場での販売量の減少によって部分的に相殺された。
- 税引前営業利益は、前年同期比5%減の3億200万ドルであった。化成品事業での大幅な利益増は、低調な製品ミックス、米国の住宅市場での販売量の低下、原材料価格の上昇、成長投資に伴う固定費の増加で相殺された。

各事業部門の業績に関するその他の情報につきましては、米国本社ウェブサイト www.dupont.com DuPont Investor Centerのページをご覧ください。

展望

デュポンは2008年通期の1株当たり利益の予想を上方修正し、3ドル45セントから3ドル55セントまでと予想の範囲を絞り込みました。前期の通期予想では、3ドル40セントから3ドル55セントの範囲としていましたが、2008年上期の1株当たり利益は、上期に利益の集中する農業関連事業の堅調な伸びを反映し、前年同期を大幅に上回るものとなりました。2008年下期の1株当たり利益

については、エネルギーおよび原材料コストの上昇、特定の先進国市場での需要減、資産売却による収入減、税率の引き上げを要因として前年をやや下回るものと予想しています。また、下期の1株当たり利益は、第3四半期と第4四半期で半々の数字になると予想しています。

「当社は厳しさを増している環境にあって、大健闘している」「われわれは引き続き、2010年に向けた「Acceleration Plan」の成長目標を達成すべく注力していく」とホリデー会長は語っています。

デュポン社は、科学的な発見や発明を基盤に製品やサービスを提供する企業です。創立は1802年、本社は米国デラウェア州ウィルミントンに置かれています。世界70カ国余りに拠点があり、農業・食品関連、建築・建設、通信、輸送の分野で、革新的な製品やサービスをお届けしています。世界中の人々の生活をより安全で豊かにするために、科学の力を生かした持続可能なソリューションを創出しています。

#

以上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

デュポン株式会社 広報部:岩松

電話(03)5521-8484